

4) 支援関係機関等

ヒアリング調査にあたっては、DV被害者や困難な問題を抱える女性への今後の支援策を検討するため、具体的に、支援者の立場での現在の状況や、今後必要な取組等についてヒアリングしました。

① 法に基づく女性支援関係施設

問 施設・支援者の立場から見た、近年の入所者の特徴や現状をお聞かせください。

- 入所者の若年化
- 妊産婦（特定妊婦）の増加
- メンタル不調者・障害者の増加
- 子どものメンタル不調
- スマートフォンへの依存
- 成育歴に関連する問題
- 養育に関する不安
- 金銭管理の難しさ
- 施設ルールへの難色
- 親からの虐待
- 行き先や頼るところがない

問 対応が難しいケースがあれば教えてください。

- 就労に関する対応
- メンタル不調者への対応
- 日常生活動作が自立していない人の受け入れ
- 入所者の状況の違いによる不満
- 介入度合の難しさ

問 課題解決のために必要なことを教えてください。

- メンタルケア
- 多職種・多機関との連携
- 既存の福祉サービスの拡充
- 支援者が相談できる窓口
- 退所後を見据えた支援
- 本人の意識改革への支援
- 夜間の対応
- 支援体制の強化
- 入所者との信頼関係の構築
- 職員のケア
- 施設外での相談窓口

問 女性の支援を行っていく中で、こういったことが必要だと思いますか。

- 学ぶ機会の提供
- 気軽に相談できる場所
- 施設の新たな活用
- 一人ひとりに沿った対応

問 退所後社会の中で少しでも生活しやすくなるためにはこういったことが必要だと思いますか。

- 学ぶ機会の提供
- 多職種・多機関との連携
- 社会環境の変化

② 民間支援団体

A：女性・子ども関連

問 施設・支援者の立場から見た、支援を受けている女性の近年の特徴や現状をお聞かせください。

- 支援対象者の多様化
- 相談内容の変化
- 経済面の問題
- 離別後のメンタル不調
- 対人関係への影響

問 対応が難しいケースがあれば教えてください。

- 対象者の意識やメンタル状態
- L G B T Q
- 若年妊婦
- 親からの虐待を受けている成年者
- 受け入れ側の限界

問 課題解決のために必要なことを教えてください。

- ピアサポートの実施
- D Vやジェンダーに関する啓発・教育
- 長期的な経済面の支援

問 女性の支援を行っていく中で、こういったことが必要だと思いますか。

- 各機関等の専門性の発揮と連携
- 行政との連携
- 事業の継続性
- 対象者への配慮
- 支援者教育

問 社会の中で少しでも生活しやすくなるためにはこういったことが必要だと思いますか。

- 即時使用可能な経済的支援
- 入居までの支援
- 女性への支援の充実

B：性暴力関連

問 施設・支援者の立場から見た、支援を受けている女性の近年の特徴や現状をお聞かせください。

- 経済的な問題
- 親子関係の不和
- 性暴力・性虐待の影響
- スマートフォン関連の被害
- 居場所がない
- 大人への不信感
- 認識や知識の不足
- 生活スキルの不足
- 過去の被害の影響

問 対応が難しいケースがあれば教えてください。

- 18・19歳の保護
- 親族から性的虐待を受けた子どもの保護
- 対象者の意識
- 深夜の対応
- 長期間支援が必要な人への対応

問 課題解決のために必要なことを教えてください。

- 深夜の安全・安心な居場所作り
- 幼少期からの性教育やSNSの教育の実施
- 制度等の啓発
- ピアサポート
- 相談体制
- 早期対応
- 民間との連携
- 心理支援
- 支援体制

問 女性の支援を行っていく中で、こういったことが必要だと思いますか。

- 各機関等の専門性の発揮と連携
- ワンストップ窓口の設置
- ポータルサイトなどでの情報交換
- 学校等での教育と対応
- 行政の補助

問 社会の中で少しでも生活しやすくなるためにはどういったことが必要だと思いますか。

- 包括的教育
- 頼れる場・人づくり
- 経済的支援

C：若者関連

問 施設・支援者の立場から見た、支援を受けている女性の近年の特徴や現状をお聞かせください。

- 社会や支援機関との関係性の不調
- 孤独感・孤立感
- 親の不安感
- メンタル不調者の増加
- 経済面の問題
- 対象者の若年化とパパ活

問 対応が難しいケースがあれば教えてください。

- 希死念慮者の対応
- 性被害者等への対処
- 他機関からの依頼への対応（一時保護）
- 逃げることにエネルギーが落ちている人への対応

問 課題解決のために必要なことを教えてください。

- 永続的な経済的支援
- 安定的な生活の支援
- 支援者と対象者との関係づくり

問 女性の支援を行っていく中で、こういったことが必要だと思いますか。

- 行政の補助
- 中立的な立場のソーシャルワーカー

問 社会の中で少しでも生活しやすくなるためにはこういったことが必要だと思いますか。

- QOLの維持とメリットの啓発
- 安全な場所の提供
- 地域とのつながり

D：居住関連

問 施設・支援者の立場から見た、支援を受けている女性の近年の特徴や現状をお聞かせください。

- 親子関係のトラブル
- 複合的な問題

問 対応が難しいケースがあれば教えてください。

- 子どもの有無による対応の違い
- 親子のケア
- 年齢による支援の打ち切り
- 避難後の困難

問 課題解決のために必要なことを教えてください。

- 行政との連携
- 各機関等との連携
- 女性相談員支援体制強化の必要性

問 女性の支援を行っていく中で、こういったことが必要だと思いますか。

- 居住支援とDV等支援とのつながり強化

問 社会の中で少しでも生活しやすくなるためにはこういったことが必要だと思いますか。

- 離婚前の母親への支援
- 子どもへの配慮

③ 児童福祉施設

問 施設・支援者の立場から見た、女性退所者の特徴や現状をお聞かせください。

- 学歴や進路に関する課題
- 職場や生活環境における問題
- 家庭や親子関係の課題
- 子どもの特性や課題
- 相談や孤立に関する状況

問 対応が難しいケースがあれば教えてください。

- 職場の人間関係
- 異性関係のトラブル
- 金銭的な問題
- グループホームにおける対応
- 自立支援の課題

問 課題解決のために必要なことを教えてください。

- 心の満たされ人に関する課題
- 就労に関する課題
- 本人の意思を尊重する必要性
- 支援体制の強化
- 退所後の課題
- 精神的サポートの必要性
- 施設の整備
- 職員の知識向上

問 女性の支援を行っていく中で、こういったことが必要だと思いますか。

- 支援のアプローチ
- 本人の行動と支援ネットワーク
- 支援側の課題
- 退所後のケア
- 身体・性教育の必要性
- 施設環境の整備

問 社会の中で少しでも生活しやすくなるためにはこういったことが必要だと思いますか。

- 経済的な安定支援
- 依存の改善支援
- 相談場所の確保
- 子どもとの信頼関係構築支援

- 相談ツールの改善
- 専門的支援者の配置

④ 公的団体（障害者・高齢者等の相談支援）

問 施設・支援者の立場から見た、近年の支援を受けている女性の特徴や現状をお聞かせください。

- 相談件数の増加
- 高齢者のDV被害の状況
- 家族形態や地域社会の問題
- 支援や連携における課題

問 対応が難しいケースがあれば教えてください。

- 住まいの課題
- 複合的な課題対応の難しさ
- 家族への介入
- 女性被害者の支援

問 課題解決のために必要なことを教えてください。

- 横断的な会議体の開催
- ネットワークづくり

問 女性を支援を行っていく中で、こういったことが必要だと思いますか。

- 支援者の安心・安全の確保
- 実務的支援を行う機関との連携
- 支援の見直しやケアの機会

問 社会の中で少しでも生活しやすくなるためにはこういったことが必要だと思いますか。

- 精神障害者への支援

⑤ 公的団体・大学（子ども・若者の相談支援）

問 施設・支援者の立場から見た、近年の支援を受けている女性の特徴や現状をお聞かせください。

- 精神疾患等を持つ学生の増加
- コロナ禍後の影響
- 家庭内問題の変化
- 面前DVと心理的虐待
- 問題の長期化・複雑化
- 生活場所の問題
- ODの現状
- 摂食障害等の増加の問題

問 対応が難しいケースがあれば教えてください。

- 問題が深刻なケース
- 相談者が解決する気持ちがないケース
- 精神疾患を持つ学生の対応
- コロナ禍の影響を受けた学生
- 人間関係に悩む学生
- 進学率上昇と多様な学生の存在
- 家庭の生活状況によるケース
- 帰宅困難者の対応
- 本人の本音を汲み取り、フォローすることの難しさ
- 他機関との動き方の違いによる難しさ

問 課題解決のために必要なことを教えてください。

- 支援対象から外れてしまう学生や若者の支援
- 一時保護での対応
- 一時保護以外の受け入れ先
- 継続的なカウンセリング

問 女性を支援を行っていく中で、こういったことが必要だと思いますか。

- 他機関との連携
- 本人や支援者の相談先
- 関係機関との情報のやりとり
- 母親と子どもの保護に関する連携
- 予期せぬ妊娠をした女性への支援
- 理解と知識共有
- 団体への資金援助

問 社会の中で少しでも生活しやすくなるためにはどういったことが必要だと思えますか。

- 相談につながりやすい環境づくり
- 誰も排除されない仕組みや社会
- 生活場所の確保
- 若者への出前講座
- 加害者支援

⑥ 公的機関

問 施設・支援者の立場から見た、近年の支援を受けている女性の特徴や現状をお聞かせください。

- 精神的・経済的ハラスメントの深刻化
- 親からの虐待・暴力
- 若年層からの相談の増加
- 精神疾患を持っている人の増加
- 男性からの相談
- 8050 問題
- 相談の多様化

問 対応が難しいケースがあれば教えてください。

- 不安をもつ相談者への対応
- 精神的DVへの対応
- 母子や妊婦の対応
- 施設入所の条件
- 支援拒否や認識の差
- 加害者支援の難しさ
- 介入や対応の限界
- 若年層への対応
- 情報を明かさない人への対応
- 関係が築きにくい人への対応
- 病気のある人の一時保護
- 意思疎通が困難な人
- 外国人への対応

問 課題解決のために必要なことを教えてください。

- 各機関との連携
- 相談者の状況による対応
- 住宅支援

問 女性の支援を行っていく中で、こういったことが必要だと思いませんか。

- 長期的支援の必要性
- 妊婦への支援
- 女性自認者への対応
- 若年層への対応
- 女性の自立
- 当事者の意識改革
- 支援者への支援（安全確保）

- 支援者への支援（処遇改善）
- 支援者の知識の向上
- 専門職としてのスキル
- 支援措置を一括で行う機関

問 社会の中で少しでも生活しやすくなるためにはこういったことが必要だと思いますか。

- 他機関との連携と研修
- 支援の根本の見直し
- 相談体制の整備と周知
- 人員不足の解消
- 情報共有
- DV等に対する周知
- 相談することの抵抗感軽減
- 金銭面での支援
- 安心して子育てをできる環境